

2024年問題

あなたの「物流」が
厳しくなります。

鉄道コンテナ輸送という
“選択”を考えてみませんか——。

2024年4月から、トラックドライバーの
新たな労働時間規制が始まります。

特に中長距離ではこれまでのように
モノが運べなくなり、あなたの会社の物流を
維持することが困難になっていきます。

今のうちに「トラック+1」の物流体系を
考えてみませんか——。

2024年問題とは？

2024年4月からトラックドライバーの「時間外労働の上限規制」が始まります

ドライバーの拘束時間が大幅に短くなります

時間外労働時間の上限 が

年間
960
時間

までとなります

現在

年間拘束時間 **3,516**時間

年間
-216
時間

2024年4月～

3,300時間

(原則)

■トラックドライバーの拘束時間が短くなることで、トラックの走行距離や輸送力に影響が出ると見られています。

押さえるべきポイント

- 「働き方改革関連法」として、厚生労働省が推進しており、国土交通省、公正取引委員会も規制を強めています。
- 改正後は規制がより厳しくなり違反した事業者には「6カ月以下の懲役」か「30万円以下の罰金」が課せられます。
- 違反の原因となる指示を行った荷主企業には労働基準監督署からの直接要請も検討されています。

トラック輸送の「運び方の見直し」「輸送力の低下」が避けられない？

特に中長距離輸送では、これまで通りの運び方が難しくなります

現在

2024年～

500km前後

24年4月～ **500**km以上は難しくなる…

片道輸送

仙台～静岡(533 km) 東京～大阪(485 km)
大阪～福岡(620 km)

往復輸送

札幌～釧路(290 km) 郡山～東京(269 km)
東京～名古屋(314 km) 福岡～鹿児島(278 km)

押さえるべきポイント

- トラック輸送においては、走行距離500km*前後からの「スイッチ輸送」や「ツーマン運行」などの「運び方の見直し、及び「輸送力の低下」は避けられないと予想されています。
- 「運び方の見直し、に伴う「リードタイムの延長」・「運賃の上昇」や「輸送力の低下、による「運べない危機」が懸念されています。
- 多くの荷主企業・物流事業者は「2024年問題」の対応に、すでに動き出しています。

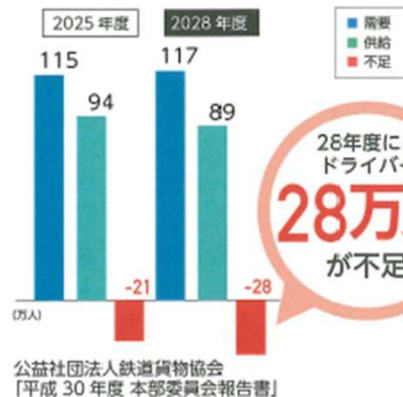
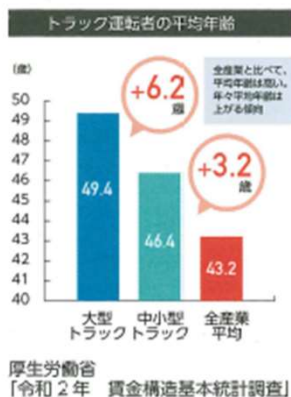
*輸送の状況により変わります。

トラック輸送だけでは「物流の維持」が困難に…

押さえるべきポイント

- トラックドライバーの高齢化と人手不足は現状においても深刻な問題です。
- 2024年4月以降の労働時間規制により、ますますトラックドライバー不足は深刻になっていきます。
- 「運賃の上昇*」はもちろん、トラックを手配できない事態も懸念されています。

進むドライバーの高齢化…2028年度には28万人が不足…



*2023年4月から、中小企業の月間60時間を超える時間外労働に対する割増賃金率が25%から50%に引き上げられることも一因です。

鉄道コンテナ輸送の使い方やお見積もりのご依頼など、
まずはお問い合わせください！

<https://forms.office.com/r/8W092jZtuv>

こちらのお問い合わせフォームへご入力頂いたお客様に
直接ご連絡差し上げます

【JR貨物】水戸営業所 お問い合わせフ
ォーム



お電話でのお問い合わせはこちら

JR貨物 水戸営業所
☎029-227-2113
(担当：吉田)

〒310-0015 水戸市宮町1-1-21

10分でわかる鉄道コンテナ輸送の仕組みについて
動画でご紹介しております！

[ネット「モーダルシフト説明会」](#)
[| JR貨物 日本貨物鉄道株式会社](#)
jrfreight.co.jp

